

かながわの交通

2023
6月号

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣府特命担当大臣賞)
～一般部門～ 運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの

もちましよう 心の余裕と 車間距離



2023 第1回 かながわ バイク リカレント スクール
初心者向け二輪車安全運転講習会



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(令和5年5月末現在)

区分 年別	発生件数	死者数	傷者数
令和5年	8,731	44	10,292
令和4年	8,332	45	9,616
増減数	+399	-1	+676
増減率	+4.8%	-2.2%	+7.0%

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,234,566	4,578,270	4,656,296
免許人口	5,665,474	3,211,202	2,454,272
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人

(県人口は令和5年5月1日、免許人口は令和5年4月末現在)



ホームページ

受賞おめでとうございます

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰

交通安全功労者、優良交通安全協会、交通安全協会優良職員に対する関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰等の受賞者(団体)が決定し、5月19日(金)埼玉県さいたま市ロイヤルパインズホテル浦和において表彰式が行われました。



本県の受賞者(団体)は次のとおりです。

●交通安全功労者(関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰) (以下敬称略)

加賀町交通安全協会	高橋 伸昌	三浦市交通安全協会	神田 幸一
金沢交通安全協会	高島 真澄	葉山町交通安全協会	加藤 清
(一社)南交通安全協会	落合 裕介	藤沢北交通安全協会	本間 泰弘
鶴見交通安全協会	大野 慶太	(一財)平塚市交通安全協会	田邊 義和
保土ヶ谷交通安全協会	北村 恒雄	大磯地区交通安全協会	石崎 一郎
緑交通安全協会	河原 学	小田原交通安全協会	二見 嘉彦
青葉交通安全協会	鴨志田 進	足柄交通安全協会	滝本 昇
都筑交通安全協会	土田 勇	秦野市交通安全協会	相原 孝司
栄交通安全協会	椿 憲司	厚木警察署管内交通安全協会	川崎 納
(一社)川崎臨港交通安全協会	新井 卜キ子	相模原交通安全協会	押田 峰雄
(一社)高津交通安全協会	岩村 良雄	相模原北交通安全協会	小山 征一
宮前交通安全協会	持田 清二	津久井交通安全	清水 幸雄
(一財)多摩交通安全協会	金井 周悟		

●優良交通安全協会(関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

(一財)港北交通安全協会	会長 嶋村 公	横浜水上交通安全協会	会長 藤木 幸吉
伊勢原交通安全協会	会長 飯塚 武彦	(一財)茅ヶ崎地区交通安全協会	会長 佐藤 たゑ子

●交通安全協会優良職員(関東交通安全協会連合会会長表彰)

(公財)神奈川県交通安全協会	豊福 洋子	逗子市交通安全協会	高橋 明日香
(一財)横須賀交通安全協会	松山 妙子	藤沢市交通安全協会	佐藤 幸

ぶつかるよ ながら運転 事故のもと

春の全国交通安全運動実施結果

令和5年5月11日(木)から20日(土)までの10日間、「春の全国交通安全運動」が実施され、期間中、交通事故の発生状況については、発生件数、負傷者数は昨年の同時期と比べて減少しましたが、交通死亡事故は4件発生しました。

	発生件数	死者数	負傷者数
期間中累計	541件	4人	645人
前年同期比	-20件	±0人	-10人

○ 期間中の交通死亡事故

- 5月13日 川崎 貨物自動車が歩行者と衝突(死亡者 84歳 女性)
5月14日 小田原 二輪車が歩行者と衝突(死亡者 90歳 男性)
5月16日 磯子 乗用自動車が乗用自動車に衝突し、歩行者に衝突(死亡者 78歳 女性)
5月19日 相模原 貨物自動車が歩行者と衝突(死亡者 71歳 男性)

各地区交通安全協会では運動期間中、地元警察署等と連携した交通安全運動キャンペーン・パレード等を行い交通事故防止を呼びかけました。



山手交通安全協会



幸交通安全協会



保土ヶ谷交通安全協会



鎌倉交通安全協会

優良二輪車安全運転特別指導員への表彰伝達

令和5年4月15日、神奈川県警察運転免許センターで行われた二輪車安全運転講習会の開講式において、長年にわたり指導員として二輪車の交通事故防止に貢献された二輪車安全運転特別指導員の内藤邦男さん、齋藤幸吉さんに神奈川県二輪車安全運転推進委員長表彰、また特別指導員の久保義之さん、小林ゆきさんにも優良二輪車安全運転特別指導員表彰として盾等が贈られました。



齋藤幸吉さん(左)内藤邦男さん
(左から2番目)



小林ゆきさん(左)久保義之さん
(左から2番目)

第40回 理事会(令和4年度事業・決算報告)結果報告

令和5年度、第40回理事会が5月17日(水)県協会会館において開催されました。

石坂会長をはじめ理事等18名が出席する中で、「令和4年度神奈川県交通安全協会事業報告」及び「令和4年度神奈川県交通安全協会決算報告」等について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

公益財団法人
神奈川県交通安全協会理事会



石坂会長挨拶



理事会の様子

九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間の結果

令和5年5月1日(月)から31日(水)までの1ヶ月間、「九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間」を実施しました。

○ 県内の自転車関連交通事故発生概況

	発生件数	死者数	負傷者数
令和5年5月末	2,142件	4人	2,054人
前年比	+12件	-2人	+12人



都筑交通安全協会
県立荏田高校登校時におけるキャンペーン



秦野市交通安全協会
ベルク前におけるキャンペーン



相模原北交通安全協会
県立相原高校におけるキャンペーン



厚木警察署管内交通安全協会
自転車商協同組合厚木支部の支援を受けた
街頭点検実施

身につけよう 命のお守り 反射材

～神奈川県警察本部交通総務課からのお知らせ～

Let's トライック！ エアロビックで交通安全！

神奈川県警察と神奈川県エアロビック連盟が共同開発

トライックⅡ ~元気に楽しくシルバードライブ~

～トライックⅡで交通事故防止と身体機能維持を目指しましょう！～



解説編では体の動かし方などを詳しく説明しています。



みんなで体操！編で楽しく一緒に体を動かしましょう。



「トライック」とは、「Traffic safety(交通安全)」と「Aerobic(エアロビック)」を掛け合わせた造語で、平成21年に神奈川県警と神奈川県エアロビック連盟が共同開発した高齢者用交通安全教育プログラムです。交通安全の歌詞を付けた曲に合わせてエアロビックを行うことにより、交通事故防止を図り身体機能維持を目指します。



クロス歩行・体幹のひねり
▶ 後方確認時などの柔軟性を養う



肩関節と股関節の外旋運動・つま先ステップ
▶ 繊細なアクセル・ブレーキ操作に

歌詞や振付の詳細は、神奈川県警察ホームページに掲載しています。

神奈川県警察 トライックⅡ



右側の QR コードからすぐに動画を再生できます。

ぜひご覧になって、交通安全活動に役立てていただくと共に
トライックⅡの普及促進へのご協力よろしくお願いします。



トライックⅡ



(解説編)

(みんなで体操編)

今回作成した「トライックⅡ」は、高齢者運転者用で、大学教授や理学医療士等専門家の監修の下、神奈川県エアロビック連盟が交通事故防止につながる動作を取り入れたエアロビックを制作したものです。

振り付けは立位バージョンと座位バージョンを用意していますので、その日の体調に合わせて好きな方を選んでいただけます。

交通事故の悲劇に学ぶ ⑪⑭

●「自分は大丈夫」 I・K 飲食業(20代)

私は自分の運転に自信があることから「事故を起こすわけがない」「安全運転をしていればバレない」などと、今思えば何の根拠も無いことを自分に都合よく考えていました。

それは3年前の春のことです。長年飲食関係の系列店に勤めていた私は、目標の一つであった独立を実現させるべく、その準備に取り掛かっていました。

夕方から翌朝まで系列店で働き、数時間だけ寝てから独立の準備という生活が続いていました。

私は以前、免許停止中に運転したことで5年間は免許を取得できません。その欠格期間が残り数か月となり気の緩みもありましたが、オープン準備にどうしても車が必要なため無免許運転を繰り返していました。

事件を起こす前日も、前の週からほとんど寝ていない状態でしたが、同業者の集まりがあるため150km離れた場所まで行きました。

そこで紹介していただいたテナントを幾つか回り、その後の会食に出席しました。

この時に眠気覚ましのドリンクと、激しい歯の痛みがあったので痛み止めの薬を大量に飲んでいました。

会食が終了した頃には夜中になっていましたが、次の仕事があるので150kmの距離をまた運転して帰らなければなりません。眠気なのか、痛み止めの薬の影響なのか分からぬまま、頭をスッキリするため、眠気覚ましのドリンクを更に飲みました。

高速道路のインターを降りて、自宅まで後10kmのところまで来た時でした。長い一本道で意識が無くなり、気付いた時には目の前に車がありました。

慌ててブレーキを踏んだ直後、車体のぶつかる鈍い音と共に強い衝撃がありました。

赤信号で停まっていた車に、私の車がほぼノーブレーキで追突してしまったのです。

よく「頭が真っ白になった」という表現が使われますが、事故直後の私はまさにその状態で、恐怖や焦りから停まることができず、その場から逃げてしまいました。

私の車も前方が大破したのですが、無理やり

運転して自宅まで戻り、もう1台所有している車に乗り換えて人通りの少ない場所に移動しました。

それから数時間、ずっと事故の事や今後どうするかを考えていましたが、その間も両親や元妻、警察署からの電話が鳴りやみません。

唯一、元妻からの電話に出たのですが、その時に「相手の方が亡くなられた」と知られ、自分の犯した罪の重大さに気付き出頭しました。

「懲役4年に処す」と言うのが、無免許運転過失致死及び道路交通法違反の判決でした。

自らの過信により人の命を奪うという取り返しのつかない過ちを犯した私に課せられた刑期は4年でした。

残す期間が1年余りとなったところで、御遺族には弁護士を通じ謝罪文を受け取ってもらい、示談にも応じていただきました。

私がこの事件を起こしたことで、これまで私の仕事に関わり全力で働いてくれた人達の苦労を台無しにして、多大なご迷惑を掛けてしまいました。

復縁の話をしていた元妻やそのご両親を裏切り、自分の責任も取れない私の代わりに御遺族に頭を下げてくれた両親など、自分の犯した過ちが、周囲にどれだけ大きな影響を与えたか今更ながら感じています。

受刑生活の中で、矯正指導や改善指導を通じ色々な事を学ぶ事ができました。まずは、亡くなられた被害者の無念を知り、御遺族の心情を理解することが大切です。また、慰謝については、自分に何ができるかをよく考え、自己満足の償いにならないように注意する事が必要だと知りました。

受刑生活が終わっても罪を償った訳ではなく、償いは一生続きます。これからも自分の考え方や生き方を改め、一生を掛けて贖いの日々を送ります。

「当たり前の日常のありがたみ」、「無くして気付く大きさ」、「犯してから気付く罪」これらの事に今さら気付いた自分が心底情けないです。

この人 206



山手交通安全協会
会長

ば ぱ ま さ は る
馬場 正治さん



山手交通安全協会は、昭和23年7月に交通安全思想の普及高揚と交通安全運動を警察と共に推進することを目的として発足していますが、平成6年4月に山手警察署新庁舎の竣工に合わせて、同警察署内1階交通課の一角に事務所を移転し、業務を行っています。

管内は、横浜の真ん中で、数条の丘陵地帯と低地から成り立ち、東・南側は東京湾に面しています。

丘陵部は、大半が住宅や教育施設で、県下有数の文京地区となっています。

また、この地区は、幕末から明治時代にかけ、外国人居留地として拓け、西洋館が多数あるほか、「三渓園」、「港の見える丘公園」などを目当てに、四季を通じて多くの観光客が訪れています。

私は、現在、横浜市磯子区に住んでいますが、幼稚園のころまでは、管内の本牧三之谷で過ごし、大学卒業後に父親が昭和28年に創業したタクシー会社に入社し、昭和49年から代表取締役に就任し現在に至っています。

交通安全活動に携わり始めたのが、昭和59年に山手交通安全協会の理事、平成16年から常任理事として協会の事業運営と交通安全活動を行って

います。

また、本社が山手地区にあり、会社としても当協会の事業所会員として交通安全活動、特に春・秋の全国交通安全運動や各季の安全運動などの各種キャンペーンには従業員も含め、積極的に参加していました。

趣味として、茶道(裏千家)を嗜み、「和敬静寂」の精神を養っています。

また、スキューバダイビングを楽しみ、南国の澄みきった海を求めて西表島方面に出掛けてリフレッシュしています。

山手警察署管内では、交通死亡事故が、令和3年11月6日から現在まで「0」が続いており、昨年、県警交通部長から感謝状をいただきました。

これも、署員、関係団体をはじめ、地域の方々の努力によるものだと思います。

今後も、悲惨な交通事故を発生させないことを目指して、警察署、関係団体や地域住民の皆様の協力をいただいて、交通安全活動を進めていきたいと思います。

(取材協力：山手交通安全協会)

ここにちは「相模原交通安全協会」です

私たち相模原交通安全協会は、相模原警察署の管轄区域である相模原市中央区内において、田所会長以下、18支部、約200人の支部員で交通安全活動を実施しています。

相模原地区の特徴として、「自転車の事故が多いこと。」と「地域のイベントが多いこと。」の2点があげられます。

自転車の事故については、地形が平坦であることから買い物や駅への通勤通学に自転車を使用する方が多いため高齢者の事故とともに多く発生しています。警察署長に伺ったところ、今年1月から3月までの間では、自転車が関係する事故の発生が「県下ワーストワン」とのことでした。警察や市と協力して、自転車運転者に対する注意喚起やヘルメット着用の広報活動を当協会が先頭に立って推進し、汚名返上したいと考えております。

また、地域のイベントも一年を通じて多く開催されます。主なものでは、4月の「市民桜まつり」(本年は選挙のため5月に若葉まつりとして実施)、7月の「上溝夏まつり」、8月の「納涼花火大会」、9月



の「相模原市総合防災訓練」、1月の「駅伝競走大会」等が挙げられます。

しかし、ここ3年間は、コロナウイルスに伴い全てのイベントが中止となりました。毎年の事として参加していましたが、これら地域のイベント等の支部員みんなが集まって活動する場は、地域の交通安全に資することの他にも、他団体の皆さんとの情報交換や支部員のモチベーションの維持等の面からも大切なことであると痛感しました。

本年は、これらの自粛も解除となることから、気持ちを新たにし会長以下協会員一同、高齢者や自転車事故ゼロの安全安心な街を目指して、交通安全活動を推進してまいりたいと考えております。

(大澤 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

地区交通安全協会の活動紹介



海老名市 海老名小学校における新入学児童・園児を交通事故から守る運動キャンペーン



津久井 相模原市立広田小学校における新入学児童・園児を交通事故から守る運動キャンペーン



鶴見 JR 鶴見駅における新入学児童・園児を交通事故から守る運動キャンペーン（子供の交通安全宣言）



厚木警察署管内 ゴールデンウイーク初日、相模川河川敷においてハンドルキーパー運動を実施し、飲酒運転の根絶を訴えた。

△ 交 通 安 全 活 动 △



相模原北 大貫指導部長、笠島支部長から当麻田小学校にABCファイル等を贈呈



加賀町 横浜公園における新入学児童・園児を交通事故から守る運動キャンペーン



都筑 センター南駅における新入学児童・園児を交通事故から守る運動キャンペーン



大磯地区 二宮町立二宮小学校における新入学児童・園児を交通事故から守る運動キャンペーン

贊助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、贊助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 川崎信用金庫リスク統括部 ━━━━━━ 川崎市川崎区
- 株式会社TFK E保険プランニング横浜支店 ━━━━━━ 横浜市緑区
- (株)横浜メディアアド ━━━━━━ 横浜市神奈川区

● 賛助会員入会のお願い ●

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

- 表彰審査委員会 ━━━━━━ 7月4日(火) 県安協会館
- こども自転車神奈川県大会 ━━━━━━ 7月8日(土) 横浜市平沼記念体育馆
- 夏の交通事故防止運動 ━━━━━━ 7月11日(火) ~20日(木) 県内